

令和4年度
決算報告書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

貸借対照表

令和5年3月31日現在

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	55,560,875	40,514,832	15,046,043
現金	115,872	1,269,293	△ 1,153,421
普通預金	55,445,003	39,245,539	16,199,464
未収金	12,000	1,600	10,400
前払費用	2,208,360	2,159,652	48,708
前渡金	0	200,000	△ 200,000
流動資産合計	57,781,235	42,876,084	14,905,151
2 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3)その他の固定資産			
その他の固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	57,781,235	42,876,084	14,905,151
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,200	0	3,200
前受金	0	0	0
仮受金	0	0	0
流動負債合計	3,200	0	3,200
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,200	0	3,200
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	57,778,035	42,876,084	14,901,951
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	57,778,035	42,876,084	14,901,951
負債及び正味財産合計	57,781,235	42,876,084	14,905,151

正味財産増減計算書

自令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
② 特定資産運用益	0	0	0
③ 受取入会金・会費	17,465,600	13,860,800	3,604,800
正会員受取会費	17,465,600	13,860,800	3,604,800
④ 事業収益	13,660,834	4,343,000	7,766,434
新人教育プログラム参加費	0	110,000	△ 110,000
研修集会参加費	2,959,000	966,000	1,993,000
学術大会参加費	3,057,000	1,946,000	1,111,000
研修会・講習会参加費	6,093,434	1,321,000	4,772,434
前期研修委託金	1,516,000	0	1,516,000
後期研修受講料	35,400	0	35,400
⑤ 受取補助金等	0	0	0
⑥ 受取寄附金	0	0	0
⑦ 雑収益	372,667	190,029	182,638
受取利息	27	29	△ 2
雑収益	372,640	190,000	182,640
経常収益計	31,499,101	18,393,829	13,105,272
(2) 経常費用			
会議費	1,191,672	1,113,421	78,251
賃借料	4,403,198	1,184,800	3,218,398
消耗品費	188,912	95,875	93,037
発送費	178,786	255,263	△ 76,477
旅費交通費	317,680	185,380	132,300
印刷製本費	1,819,186	1,345,618	473,568
講師料	3,357,481	1,258,473	2,099,008
講師交通費	68,960	20,980	47,980
支払手数料	1,491,559	1,123,325	368,234
広告宣伝費	34,100	0	34,100
交際費	155,401	51,988	103,413
保険料	10,605	3,297	7,308
通信運搬費	1,932,248	3,636,620	△ 1,704,372
備品購入費	0	15,400	△ 15,400
市町村士会支援金	1,095,900	1,770,571	△ 674,671
租税公課	221,400	50,000	171,400
雑費	130,062	205,539	△ 75,477
経常費用計	16,597,150	12,316,550	4,280,600
当期経常増減額	14,901,951	6,077,279	8,824,672
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	14,901,951	6,077,279	8,824,672
一般正味財産期首残高	42,876,084	36,798,805	6,077,279
一般正味財産期末残高	57,778,035	42,876,084	14,901,951
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	57,778,035	42,876,084	14,901,951

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記
継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項なし。
 - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項なし。
 - (3) 固定資産の減価償却の方法
該当事項なし。
 - (4) 引当金の計上基準
該当事項なし。
 - (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
3. 会計方針の変更に関する注記
該当事項なし。
4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
該当事項なし。
5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳
該当事項なし。
6. 担保に供している資産
該当事項なし。
7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当事項なし。
8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当事項なし。
9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業とする場合を除く)等の偶発債務
該当事項なし。
10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当事項なし。
11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
該当事項なし。
12. 基金及び代替基金の増減額及び残高
該当事項なし。
13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
該当事項なし。
14. 関連当事者との取引
該当事項なし。
15. 重要な後発事象
該当事項なし。

財産目録

令和5年3月31日現在

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
流動資産			
現金預金			55,560,875
現金	手元保管	運転資金として	115,872
普通預金	三井住友銀行上町支店	運転資金として	55,445,003
未収金	正会員受取会費未収分		12,000
前払費用	次年度以降賃借料前払分		2,208,360
流動資産合計			57,781,235
固定資産			
基本財産			
基本財産合計			0
特定資産			
特定資産合計			0
その他の固定資産			
その他の固定資産合計			0
固定資産合計			0
資産合計			57,781,235
流動負債			
未払金	立替経費未精算分		3,200
流動負債合計			3,200
固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			3,200
正味財産			57,778,035

監査報告書

2022年4月1日～2023年3月31日までの(社)大阪府理学療法士会生涯学習センターの業務ならびに会計の監査を行いました。
監査方法およびその結果について報告いたします。

1. 監査方法

1) 業務監査について

理事会ならびに重要な会議に出席し、理事からその職務の執行状況の報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な関係資料を閲覧により業務執行の妥当性を検証しました。

2) 会計監査について

当該年度に関わる計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)および附属明細書と財産目録について検証しました。

2. 監査結果および意見

1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業内容は適正で有り、理事の職務執行に関して不正行為や定款に違反する重大な事実はなかった事を認めます。
- ② 計算書類貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、帳簿の記載内容と一致し、生涯学習センターの収支および財産の状況を正しく示し、適正に処理をされた事を認めます。

3) 監事の意見

- ① 支部ごとによる学術大会開催、研修集会、総合理学療法学の学術事業が柱となり、生涯学習センター主催研修会が新人、中堅の会員そして登録理学療法、認定・専門理学療法士の更新研修会が質量とも大幅に増加したことはセンター役員、部員が一丸となって事業を促進されたことは高く評価される。
- ② 2022年4月より協会事業の新生涯学習制度が開始し前期研修と特に後期研修においては対象となる会員の受講に際し、改善に向け検討ください。

2023年5月14日

一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センター
監事

千葉一雄